



ウェブセミナーを支援

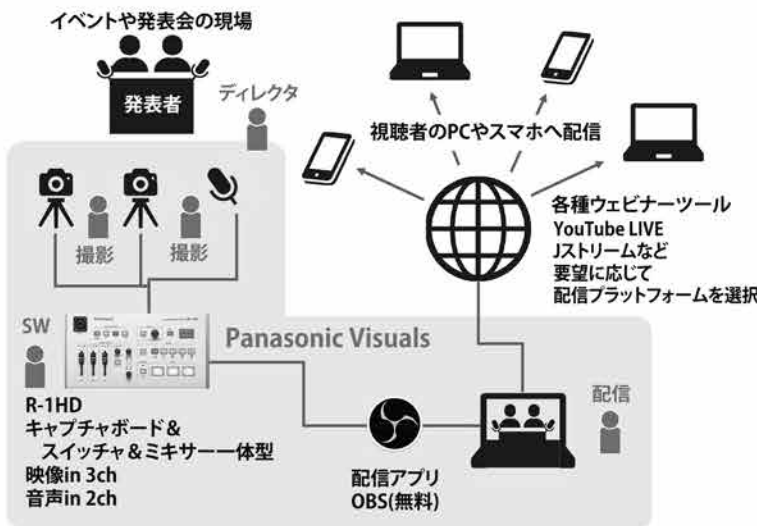
パナソニック映像 ライブ配信サービス提供開始

新型コロナウイルスの影響で企業活動が制限され、オンラインでのバーチャル展示会・セミナー・会議などが関心を集めている。オンライン上での顧客との新たなコミュニケーションツールとして、動画配信プラットフォームのYouTubeライブ、Web会議システムのZoom、ウェビナー(Webセミナー)ツールなど配信サービスのニーズが急速に高まりつつある。

中でも、主催者側が主導権を持つ使い勝手の良さやコストを抑えながらも幅広い見込み客にアプローチできることからウェビナーに注目する企業が多い。既に米国を中心に海外では一般化しているビジネススタイルだが、日本ではまだなじみが薄い。

この特徴を生かし、ライブ配信サービスについても撮影から配信までの運用サポートをまとめて提供する。こうした強みと配信ツールを利用し、顧客に最大の価値を提供していく考えだ。「今までの撮影ノウハウや運営の実績にプラットフォームと連携し、ウェビナー事業をトータルプロデュースできる」(同社)。

ライブ配信サービスの概要 (撮影収録 ⇒ 視聴者へ配信)



出所:パナソニック映像

同社が提供する配信プラットフォームとしてのウェビナーサービスは、顧客の要望事項を基に構成台本の作成、配信拠点数、テロップの有無などのシステム図

を作成し、システム運用の確認など事前の配信リハール・本番までのサービスをワンストップで用意。本番までの期間は最短で約10日だという。

ウェブセミナーサービスのメリットには、ウェビナーログの活用が容易で、開催後に様々なログを活用できる点が挙げられる。ゲストの滞在時間やチャットの書き込み履歴、アンケート回答結果など、ログデータを活用した営業アプローチに使える。加えて、一度配信した映像を何度でも録画配信可能だ。

PCだけでなく、専用のアプリを使用してスマホからもアクセスできる。参加者は匿名でチャットでの意見交換や、チャットの意見にリアルタイムで返答可

能。アンケート機能を使えば、その場で参加者全員のリアクションを得られるほか、質疑応答には挙手制で参加者と音声で直接会話することもできる。どこにいても参加でき、コストや時間を削減し、ライブだからこそ思いが伝わりやすかった。配信プラットフォームとしてコクリポとの業務提携を進めており、ライブ配信のあらゆるニーズにこたえていく。「サービスプランは顧客の要望や費用感を満たすよう複数用意した。ほかの配信プラットフォームでの配信サービスは顧客のニーズに応じて対応していく計画だ。今後も必要な情報を必要に応じて提供できるライブ配信サービスに積極的に取り組む」(同社)としている。